

英語英文学科 4年 荒井 遥華さん

—どのような学生生活を送っていますか。

将来、英語の教員になるという夢を叶えるため、大学では教職課程を履修し、日々勉学に励んでいます。

また、奉仕活動にも力を入れています。学外では、ローターアクトクラブに所属し、楽しく奉仕活動を行っています。ローターアクトクラブとは、ロータリークラブが提唱する、18歳以上の人々が集まり、リーダーシップと専門的なスキルを育みながら奉仕活動を行う団体のことです。私が所属し、幹事も務めているクラブでは、子ども食堂の遊びのボランティアをお手伝いしたり、地域の清掃活動を行ったりしています。このような奉仕を通じて、年齢や職業の異なる方々と出会うことにより、コミュニケーション能力が身につく、自己を成長させることができます。

—課外活動ではどのようなことに取り組んでいますか。

ラファエラ・マリアセンターの学生ボランティアグループ「Seoグループ」の代表を務め、ボランティア活動を行っています。

具体的な活動内容としては、年に数回の募金活動、アイシティーが行っているecoプロジェクトであるコンタクトケース集め、月一回程度、学内で回収したペットボトルキャップを業者に届け、UNICEFと連携して世界の子どもにワクチンを届けるエコキャップ活動、校内の花壇の一部を管理する花壇プロジェクト、ミャンマーからの技能実習生に送る冬の衣類募集などがあります。

メンバーが一丸となって活動に取り組めるように、メンバーに寄り添い、それぞれの意見を反映させることを意識して活動を行っています。これからも建学の精神に基づいたボランティア活動に積極的に取り組みたいと考えています。

—奨学金をどのように活用したいと考えていますか。

今回発展協会からいただいたご支援は、参考書・教科書代や実用英語技能検定の受験料として活用させていただきます。将来の夢である英語教員になるために必要な知識を深めるため、いただいたご支援を有効に活用し、今後とも勉学に努めていきたいと思っております。

—後輩たちへ向けてアドバイスやエールがあれば聞かせてください。

学業以外にもボランティアやサークル活動などに積極的に参加し、年齢、職業の異なる様々な方々と関わる機会を作ることが大切だと思います。私は幅広い年齢の方との交流を通して、目上の方とのコミュニケーションの仕方、自分とは違う物の見方や考え方を学ぶことができたと感じています。

また、学生生活を送る中で、将来への不安を感じた時、一人で悩まずに、キャリアサポート課やラーニングアドバイザーを訪ねてみてください。私も何度も相談にいき、明確なアドバイスをいただけたことで不安の解決策を見つけ、自信を持って前進することができました。

皆様の学生生活がより充実したものとなることを心から願っています。



東京葛飾中央ローターアクトクラブの「子ども食堂の遊びボランティア」での一枚。子どもたちの遊びの見守りを行いました。



Seoグループのクリスマス募金での一枚。（右端が荒井さん）

